

各プロジェクトの進捗について



令和 8 年 3 月 16 日
愛南町 海業推進室



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
インバウンド！AINANツアー生成プロジェクト

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
ツアーコンテンツの検討	[Blue bar with arrows]		[Green bar with arrows]	
試行ツアーの実施	(12月) [Blue arrow]			
課題抽出・改善検討	[Blue bar]	(6月) [Green bar]		
プログラムの確立・実装			[Red bar with arrows]	



○現状

- ①インバウンド向けのツアー開発
 - ◆ 合同会社SeaWestが主体
 - ◆ 令和7年12月にモニターツアー実施
→量より質を重要視した商品の開発を目指し、PDCAを回し今後のツアーの提供体制及びメニューの充実を図る
 - ◆ メインコンテンツ：ダイビング
 - ◆ サブコンテンツ：ジビエ(狩猟体験)、ハイキング、街中散策、松野町の滑床渓谷のキャニオング、民泊の他、インバウンドのアップマス層に効果的だと考えられる「地域イベントや町民との交流」を検討中
- ②グリーンフィンズ認証の取得
 - ◆ 「欧州向けのダイビングやシュノーケリング事業者が、サンゴ礁などの海洋環境を守りながら運営していることを示す国際的な環境認証制度」
 - ◆ 特にインバウンドの客層から興味を持っていただくきっかけや、新規開拓の営業ツールとして取得
- ③ダイビング・観光船
 - ◆ 引き続き継続していく、国内外客問わずシーウォーカーの評価が特に高い
- ④海底熟成ワイン
 - ◆ 県外の方に愛南町を知ってもらうきっかけ作りのため、愛南町のふるさと納税の対象品として、海底熟成ワインを登録

課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 資金不足・人材不足 ● 特に欧州向けの旅行会社等の確保・連携(コンテンツ造成含)

協力してもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 関係者人口の増加 ➤ 愛南町内の各事業主体との相互連携

対策
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各種補助金に応募中 ➤ エアビーへの登録で宿泊と体験を海外に向けて発信 ➤ 外国人向けにツアーの募集を行ってもらう旅行会社の選定やPR方法の確立



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
インバウンド！AINANツアー生成プロジェクト

○目標とする姿（将来像）

- ◆ 短期（～R8）：インバウンド向けのツアーを実装予定(参加者数20人、売上2,400,000円(12～15万円/1泊2日以上))
- ◆ 中期（～R13）：商品単価の高価値付加
- ◆ 長期（R13～）：アップーマス層向けの愛南町独自のコンテンツの構想
プロモーションの検討、地産地消が出来るような体験プログラム造成

○事業内容

- ◆ インバウンド向けツアー提供

○実施主体

- ◆ 合同会社SeaWest
(コーディネーター：高橋氏、竹田氏、小野氏)

○ターゲット

- ◆ インバウンドのアップーマス層

○事業としての収支（想定）

売上：12～15万円/1泊2日 × 20人 = 240～300万円/年
 経費：140万円/年

○その他（想定・確認事項など）



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	...
ツアーコンテンツの検討				
試行ツアーの実施		(7～10月)		
課題抽出・改善検討				
プログラムの確立・実装				



○現状

- ◆ 愛南町ぎょしょく普及推進協議会が中心となって、愛南町内外の学校で魚の生産から消費、文化に関する教育を実践し、水産物の消費拡大および担い手の誘致・育成を図るために、水産業振興の一環として実施
- ◆ 小中学校等での出前授業として座学、マダイの試食、一本釣り体験を60回/年実施
- ◆ R7にモニターツアーを予定していたが、体制の都合上実施ならず。戻し入れ予定
- ◆ →R8にぎょしょくツーリズムに係る業務として、愛媛県内の観光会社へツアーの企画を依頼予定
- ◆ 参加者数：10～20人/1回
- ◆ コンテンツ：市場見学や調理体験等のぎょしょく体験を組み込んだ1泊2日のツアー
- ◆ 財源は、町の一般会計から負担金として「愛南町ぎょしょく普及推進協議会」で受け、そこから観光業者へ委託するなどの方法を検討

課 題

- 旅行会社との連携
- 本業がある体験受入事業者の本業へ影響
- 天候や漁獲状況により実施できない場合の代替メニューの考案
- 受け入れ体制として危機管理マニュアルなどが必要

協力してもらいたいこと

- 旅行業の資格がある旅行会社とのマッチング
- コンテンツの造成・選択や安全管理等々のアドバイス

対 策

- 実施体制の構築を図る



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト

○目標とする姿（将来像）

- ◆ 短期（～R8）：上半期中に可能な限りツアーを複数回実施
- ◆ 中期（～R13）：継続的な実施を通じて各体験プログラムの質を高め、満足度及び評価の向上
- ◆ 長期（R13～）：多様な体験プログラムの構築・持続的な収益確保→Umidas委託を視野に入れる
ツアー30件の受入

○事業内容

- ◆ 体験プログラムの企画・体験実施事業者との調整
- ◆ 学校に向けた普及啓発活動

○実施主体

- ◆ ぎょしょく教育
愛南町ぎょしょく普及推進協議会
- ◆ ぎょしょくツーリズム
旅行会社→将来的にはUmidasへ

○ターゲット

- ◆ 中予・東予・南予の家族層・教育関係者
- ◆ 企業研修(関東給食会に所属している学校給食卸業者を対象)

○事業としての収支（想定）

- ◆ ぎょしょく教育
従来の学校向け普及啓発
町からの補助等による支援を想定100万円
- ◆ ぎょしょくツーリズム→Umidas委託
ツアー提供による収益
一般的なツアーの手数料20%
(各体験受入事業者との調整・行程管理等：1名)
600人×5000円/人×20%=60万円

○その他（想定・確認事項など）

- ◆ 各体験プログラムの提供を行える漁業者及び事業者との連携体制の確立(本業との兼ね合いも含め兼業を想定)



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

○目標とする姿（将来像）

- ◆ 短期（～R8）：買取先の確保
- ◆ 中期（～R13）：認証量の増加(目標：40t 新たな調査海域や、調査の精度向上を検討)
買取価格の向上(現状：5.5万円/1tでの公募)

○事業内容

- ◆ 令和7年度 四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議 支援プロジェクトへ応募
プロジェクト名：**未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト**

○実施主体

- ◆ 愛南町ブルーカーボン推進協議会
(代表者：立花弘樹)
 - ・ 愛南漁協(事務局)
 - ・ 真珠母貝養殖生産組合
 - ・ 愛媛大学南予水産研究センター
 - ・ 一般社団法人 Umidas (R7新規)
 - ・ 丸紅フォレストリンクス←R7脱退
 - ・ 愛南町
- 計5団体

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町 ～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

愛南町ブルーカーボン推進協議会
愛南漁業協同組合、家中・油袋・平暮・柏崎真珠母貝生産組合、愛南町役場
国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、丸紅フォレストリンクス株式会社

プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は真珠母貝生産量が全国トップクラスですが、漁業者の減少が著しく、真珠産業の存続が危惧されます。
- ✓ 真珠母貝養殖筏（幹縄筏）には作業の支障となる海藻（マメタワラ）が毎年繁殖します。
- ✓ 漁業者はこれを除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ばれる区画に移動する作業を頻繁に行っています。
- ✓ 漁業者が管理する筏が貴重なブルーカーボン創出源となり、日常作業が海中への炭素固定に貢献すると捉えた、新発想のプロジェクトです。

申請対象：愛南町内4海域の幹縄筏のマメタワラ
今期認証量：34.8(t-CO₂) 藻場面積：7.09ha

特徴

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初、四国第一号**の認証
- ✓ **産業活動そのものが脱炭素社会に貢献**
- ✓ 取得したクレジットは**真珠産業の保全・活性化**に繋げる他、**環境保全活動や環境教育**等にも活用



海浜清掃



水産人材育成
(ぎょよく教育)



藻捨て場に運ぶ漁業者



真珠母貝表面の
洗浄作業



幹縄筏のマメタワラ



養殖される真珠母貝

**愛南町は真珠母貝養殖の継続で
持続可能な脱炭素社会を実現します**



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

(ウニッコリー畜養関連)

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
ウニッコリー畜養	(11～4、5月)	(11～4、5月)	(11～4、5月)	(11～4、5月)
ウニッコリー販売	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～1月)
ウニッコリー体験(2回/月)	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～1月)



○現状

体験：町内外問わず、要望がありぎょしょく教育、ぎょしょくツーリズムの一環として提供をしている。
 販売：町内外へ藻場を守る会が販売をしており、売上をダイバー依頼料へ充てている。

(1)採捕状況	(2)畜養状況
◆ 採捕人時：ダイバー1、2人体制	畜養人時：2人体制
採捕頻度：1回/2週間(約300個/1回)	畜養場所：R7は船越漁港のみで最大8～10カゴ=最大800個程度
ダイバー依頼料：2000円/1籠(ダイバーのご厚意で)	給餌頻度：2回/週
(3)加工状況	(4)販売状況(R4～R5)
◆ 加工(殻剥き)人時：2人体制、最大80個/2日/週	販売価格：1,500円/70g/パック (町外の場合は2000円/70g/パック)。 ※1パック内にウニ10個程度
3パック強/1籠の生産が可能	販売先：身入りが良かったので、ゆらり内海だけでなく町内のスーパーに販売、ふるさと納税出品一時停止
	販売先：【町外】Noeud.TOKYOへ77パック、【町内】ゆらり内海へ76パックのみ

課題
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>マンパワー不足</u> (人材の確保、育成、支援体制) ご厚意・役場人材活用時間の多さ ● <u>ウニッコリーの生産量</u> (マンパワー不足から畜養場所の制限) ● <u>品質のばらつき</u>

協力してもらいたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 採捕～加工まで作業人時を2人追加いただきたい

対策
<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>生産量の維持</u>：今後は体験時の使用量のみを生産していく方針(要望に応じて他県やフェア販売については検討する) ➤ <u>品質向上</u>：水温の変化に対応した給餌頻度や適切な養殖密度の把握



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

○目標とする姿（将来像）

- ◆ 短期（～R8）：体験としての受け入れ態勢を構築
- ◆ 中期（～R13）：参加者数120人(1～3月中に6回実施、参加者数最大20人/回の体験メニューを実施)

○事業内容

- ◆ ウニッコリーの体験提供

○実施主体

- ◆ 藻場を守る会

○ターゲット

- ◆ 教育旅行（子供、親子、教員）、企業研修（漁業、農林、建設、資材関係）

○事業としての収支（想定） ※本試算には内部労力を人件費換算した参考値を含んでおり、実際の現金収支とは異なる。

◆ 販売のみ(年間(実働6か月)) 15kg/シーズン

【経費】

- ア：採捕作業 = 2,000円 × 12回(2回/月) = 24,000円/年
- イ：飼料調達 = 18時間(3時間/月) × 1,100円/時間 = 19,800円/年
- ウ：給餌作業 = 9時間(1.5時間/月) × 1,100円/時間 = 9,900円/年
- エ：加工作業 = 180時間(30時間/月) × 1,100円/時間 = 198,800円/年
- オ：梱包・発送作業 = 15時間(2.5時間/月) × 1,100円/時間 = 16,500円/年
- カ：その他(資機材購入費・修繕費等) = 50,000円/年 ←一部補助対象

$$\left. \begin{array}{l} \text{ア} + \text{イ} + \text{ウ} + \text{エ} + \text{オ} \\ \text{イ} + \text{ウ} + \text{エ} + \text{オ} \end{array} \right\} \begin{array}{l} \text{経費(ア+イ+ウ+エ+オ)} \\ = 269,000\text{円/年} \end{array}$$

【売上】

販売売上：町外販売(77パック × 2,000円) + 町内販売(76パック × 1,500円) = 268,000円/年

年間最大収支余力：-1,000円



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

○事業収支：ウニッコリー体験

※本試算には内部労力を人件費換算した参考値を含んでおり、実際の現金収支とは異なる。



販売量の1/3を加工せず、体験メニューに使用したとする

◆ 体験メニューとしての想定(年間(実働6か月)) 5kg/シーズン

【経費】

変更項目：

- ア：採捕作業 = $2,000円 \times 12回(2回/月) \times 1/3 = 8,000円/年$
- イ：飼料調達 = $18時間(3時間/月) \times 1,100円/時間 \times 1/3 = 6,600円/年$
- ウ：給餌作業 = $9時間(1.5時間/月) \times 1,100円/時間 \times 1/3 = 3,300円/年$

削除項目：

- ~~エ~~：加工作業 = $180時間(30時間/月) \times 1,100円/時間 = 198,800円/年$
- ~~オ~~：梱包・発送作業 = $15時間(2.5時間/月) \times 1,100円/時間 = 16,500円/年$

追加項目：

- キ：体験運営費(当日)： $96時間(3時間/回 \times 8回/年 \times 4人) \times 1,100円/時間 = 105,600円/年$
- ク：体験運営費(当日までの調整費)：
 $64時間(4時間/回 \times 8回/年 \times 2人) \times 1,100円/時間 = 70,400円/年$
- ケ：試食材料費(米、海苔、調味料等)+資材購入費： $150,000円/年$

経費
(ア+イ+ウ+キ+ク+ケ)
= 343,900円/年

【売上】

項目に追加：

体験売上： $120人分(4,000円/人) = 480,000円$

年間最大収支余力：136,100円
但し、4,000円/回の体験料が必要

愛南町内4海域の貝類養殖筏でJブルークレジット®認証取得

プレスリリース愛総発第26号

令和8年2月20日

愛南町ブルーカーボン推進協議会
愛南町役場 水産課海業推進室

令和8年2月6日、愛南町ブルーカーボン推進協議会(※1)が取り組む「未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～」について、ジャパブルーエコノミー技術研究組合(JBE)(※2)が運営するJブルークレジット®(※3)認証を受けました。

今年度も昨年度と同じ手法、同じ4海域で申請した結果、昨年度の34.8 t-CO₂からわずかに減少しましたが33.8 t-CO₂の認証となりました。

今後、得られたクレジットの販売に取り組むとともに、販売によって得られる資金を、脱炭素社会への取組、環境保全や真珠産業の保全・活性化だけでなく、持続可能な水産業の確立や水産人材育成など、愛南町の海業(うみぎょう、※4)の取組にも活用し、町全体の活性化を図ってまいります(詳細及び注釈は裏面参照)。

記

■プロジェクト及びクレジット認証の概要

(1) プロジェクトの名称

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

(2) 実施場所

愛媛県愛南町柏崎・平瀬・家串・油袋地先海域

(3) プロジェクト申請者

愛南町ブルーカーボン推進協議会

(4) 認証クレジット量

33.8 t-CO₂

以上

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町

～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

愛南町ブルーカーボン推進協議会

愛南漁業協同組合、家串・油袋・平簪・柏崎真珠母貝生産組合、愛南町役場
国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、一般社団法人Umidas

プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は真珠母貝生産量が全国トップクラスですが、漁業者の減少が著しく、真珠産業の存続が危惧されます。
- ✓ 真珠母貝養殖筏（幹縄筏）には作業の支障となる海藻（マメタワラ）が毎年繁茂します。
- ✓ 漁業者はこれを除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ばれる区画に移動する作業を頻繁に行っています。
- ✓ 漁業者が管理する筏が貴重なブルーカーボン創出源となり、日常作業が海中への炭素固定に貢献すると捉えた、新発想のプロジェクトです。

申請対象：愛南町内4海域の幹縄筏のマメタワラ
今期認証量：33.8(t-CO₂) 藻場面積：8.83ha

特徴

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初**、**四国第一号**の認証
- ✓ 産業活動そのものが**脱炭素社会**に貢献
- ✓ 取得したクレジットは**真珠産業の保全・活性化**に繋げる他、**環境保全活動**や**環境教育**等にも活用



**愛南町は真珠母貝養殖の継続で
持続可能な脱炭素社会を実現します**